

山梨県立 Yamanashi Prefectural Archaeological Museum

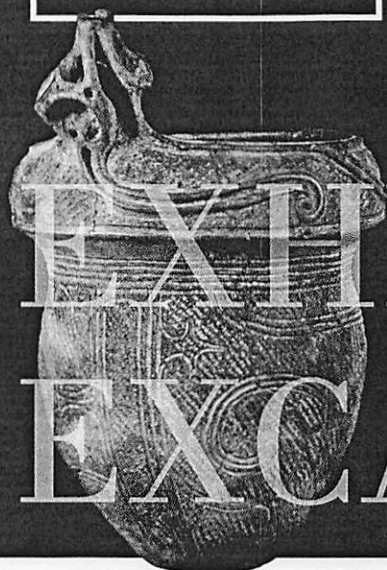
# 考古博物館 だより



HP ACCESS

No.96

<https://www.pref.yamanashi.jp/kouko-hak/>  
@yamanashi\_kouko @yamanashi.kouko1103



## EXHIBITION OF EXCAVATIONS

IN THE

発掘された日本列島 2023

JAPANESE 調査研究最前線

ARCHIPELAGO

2023



日本考古学研究最前線・27年ぶりの山梨県開催！

特集

発掘された日本列島 2023

「開館40周年記念特別展開催報告」  
「次回展示・講座案内」

# 「発掘された日本列島」展とは

**毎**年日本全国でおよそ8000件もの発掘調査が行われていますが、その成果が一般に知られる機会は少なく、専門家以外の人にとって日本の考古学研究に関する最新情報の入手手段は非常に限られています。そこで文化庁では、「発掘された日本列島」展と題し、近年の発掘調査成果の中でも特に注目度の高い出土品を中心に展示を構成し、全国を巡回することで、「考古学」や「発掘」という言葉のもつ敷居の高いイメージを払拭するとともに、埋蔵文化財に親しみ、文化財保護への理解を深めるきっかけ作りを目的とした展示会を企画しています。平成7年度から開催しているこの企画展は今回で第29回目となり、山梨県では平成8(1996)年以来、実に27年ぶりの開催となります。発掘間もない最新資料が全国各地から一堂に集う貴重な機会であるとともに、山梨会場は今年東日本で唯一の開催地となりますので、ぜひこの機会にご来場ください。

**会期** 2023 9.16 **土** - 10.29 **日**

◆毎週月曜日休館 [9月18日・25日・10月9日は開館]

**会場** 山梨県立考古博物館 [山梨県甲府市下曾根町 923]

## 約四半世紀ぶりの山梨開催！

### 観覧料

一般・大学生 600 (480) 円

小・中・高校生  
県内在住の65歳以上の方 無料

※( )内は20名以上の団体料金

※障がい者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名無料

### 「発掘された日本列島 2023」展

巡回スケジュール

- 山梨県立考古博物館 [山梨県甲府市]  
令和5年9月16日(土) - 10月29日(日)
- 対馬博物館 [長崎県対馬市]  
令和5年11月11日(土) - 令和6年1月8日(月・祝)
- 平城宮いざない館 [奈良県奈良市] ※一部展示縮小  
令和6年1月20日(土) - 2月11日(日)



9/24 **日** 記念講演会  
13:30 ~ 15:00

参加費無料  
要予約

「発掘された日本列島 2023」展の魅力

**講師** 文化庁文化財第二課文化財調査官 大澤 正吾 氏

HPの電子申請にて8月24日(木)~申し込み開始[定員95名]。尚、リモート視聴が困難な方向けに現地(エントランスホール)でのライブ配信も行います。こちらへの参加をご希望の方は来館または☎055-266-3881にてお申し込みください[定員30名]。

※現地では当日10:00からギャラリートークを開催します。

主催 文化庁、山梨県立考古博物館、全国新聞社事業協議会、山梨日日新聞社

協力 全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会、全国埋蔵文化財法人連絡協議会、公益財団法人元興寺文化財研究所、共同通信社、山梨県埋蔵文化財センター、山梨県立考古博物館協力会

後援 全国史跡整備市町村協議会、朝日新聞甲府総局、エフエム甲府、エフエム富士、産経新聞甲府支局、テレビ朝日甲府支局、テレビ山梨、日本ネットワークサービス、毎日新聞甲府支局、山梨新報社、山梨放送、読売新聞甲府支局、曾根丘陵公園指定管理者 富士観光開発・富士グリーンテックグループ



# 発掘された

# 日本列島

# 2023



JAPAN CULTURAL EXPO 2.0



発掘現場から  
文楽の力  
POWER OF CULTURE

## 01 我がまちが誇る遺跡

全国の地方公共団体の企画提案型による「地域の個性的な歴史」や「魅力的な遺跡」を紹介します。

Pick up

### 仙台湾の貝塚

—全国屈指の貝塚密集地域—

最先端の手法を用いた発掘調査によって明らかになった貝塚の最新研究成果にせまります。



Pick up

### 日本窯業の源流

—猿投窯と名古屋のやきもの文化—

「日本窯業の源流」ともいえる猿投窯の通時的な変遷を通して、古墳時代から現代まで続く日本のやきもの文化を読み解きます。



Pick up

### 物部氏の足跡と幻の西京の面影

キーワードは物部氏！古墳時代中期以降の河内平野の開発から近年発見された称徳天皇の由義寺までを取り上げます。



## 02 新発見考古速報

縄文時代から近世にかけての発掘成果を速報展示します。

縄文時代	弥生時代	古墳時代	古代	中世	近世
大久保貝塚 [宮城県]	惣ヶ池遺跡 [大阪府]	下里見天神前遺跡 [群馬県] 北大竹遺跡 [埼玉県] ウワナベ古墳 [奈良県] 佐良山古墳群 [岡山県]	立部遺跡・立部古墳群跡 [大阪府] 史跡・名勝 飛鳥京苑池 [奈良県]	騎西城跡 騎西城武家屋敷跡 [埼玉県]	郡山城 [奈良県]



## 03 特集 遺跡から読み解く多様な歴史文化

個性豊かな日本の歴史文化をパネルで紹介！さまざまな視点から遺跡や遺物を読み解きます。

Pick up

### オホーツク海沿岸の人々

—多様な生活文化とくぼみとして残る建物—

竪穴建物が埋まりきらず、くぼみの状態として確認できる北海道オホーツク海沿岸の特徴的な景観に注目！

Pick up

### 海上の道

—南島の遺跡がつなぐ文化史—

海上交易の要衝であった琉球列島の特徴を反映した奄美のグスクと関連遺跡に注目！

### 地域展

#### 「山梨の史跡」

県内の国指定史跡を中心に山梨の歴史を紹介します。

山梨県埋蔵文化財センター

企画

開館 40 周年記念特別展

# 星降る中部高地の縄文世界

—黒曜石ネットワークによる物流と人流—

会期 2023 7.8 土 - 9.3 日



開館40周年記念特別展  
開催報告

令和5年7月8日(土)～9月3日(日)の期間に開館40周年記念特別展「星降る中部高地の縄文世界—黒曜石ネットワークによる物流と人流—」を開催しました。今年は例年秋に行う特別展を夏季にスライドしたことで会期が夏休み期間と重なり、県内外から多くの縄文ファンが訪れました。本展では、日本遺産「星降る中部高地の縄文世界」を構成する山梨・長野の優品をはじめ、良質な信州産黒曜石を利用した交易を通して互いに影響を与えあった東京・北関東・東海地域の個性豊かな遺物が一堂に集い、縄文を目当てに来場した方の期待を裏切らない濃厚な縄文世界を展開しました。来場者の中にはあまりの密度の濃さに「縄文酔い」する方もいるほど見どころが多く、インパクトの強い遺物が所狭しと並びました。今回集った縄文土器の中には、個性豊かでありながらその文様や造形表現において似通った部分があるものも多く、離れた地域同士でも共有する世界観や物語性があつたことがうかがえます。そうした縄文時代の人々の豊かな精神世界が、山梨・長野を中心とした中部高地に華やかな縄文文化を生み、数千年後のわたしたちに類まれな造形美を誇る縄文土器の数々を目にする機会を与えてくれたように思います。

開催初日の7月8日(土)には、折よく入館者170万人を達成!記念すべき170万人目のお客様には記念品を贈呈し、当館館長と記念撮影をしました。



7月7日(金)には関係者を招いてのオープニングセレモニーを開催。地元の中道南・北両小学校の児童会長たちとともにテープカットも行いました。



青空に映えるバナー



<画像:左から時計回りに>

【国重要文化財】顔面付釣手形土器 御殿場遺跡 伊那市教育委員会蔵 / 小型深鉢形土器 日南田遺跡 八王子市教育委員会蔵  
浅鉢形土器 御嶽堂遺跡 町田市教育委員会蔵 / 【長野県宝】顔面把手付深鉢形土器 榎外垣遺跡 市立岡谷美術考古館蔵

# W.S

## ワークショップ

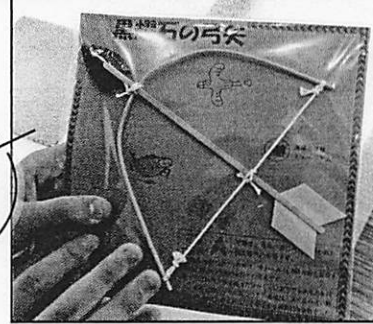
### 7.30 SUN

7月30日(日)には特別展開連イベントとしてワークショップを開催。観覧者を対象に、縄文にちなんださまざまなものづくり体験に参加していただきました。なかでも、長和町教育委員会の方を講師としてお招きした「黒曜石で石鏃を作ろう」は人気で、およそ一時間かけて黒曜石片を加工し、本格的な石鏃に仕上げました。また、縄文土器にはおなじみのモチーフである「イノシシ」を模した小さな土製品を作る「シシモノガタリ」や、西嶋和紙の方による紙漉き体験、クイズラリー、VR体験ミュージアムなど、楽しみながら縄文に親しんでいただきました。

本物の加工は鹿角！



### 黒曜石で石鏃を作ろう



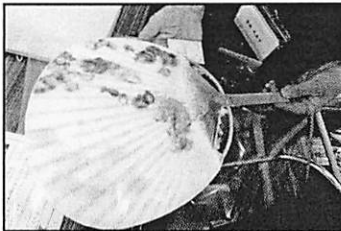
▲協力：星くずの里たかやま  
黒曜石体験ミュージアム

加工した石鏃は  
ミニ弓矢につけて  
完成です！

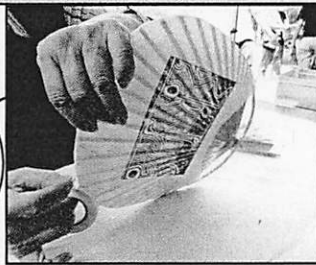
### シシモノガタリ



作り手によって  
イノシシの造形  
も変わります



### 紙漉き体験 (うちわ漉き)



スキな縄文土器の  
文様ハンコで模様を  
つけられました

▲協力：西嶋和紙工業協同組合

### 協力

- ▶ 縄文王国山梨実行委員会
- ▶ 山梨県埋蔵文化財センター

### 学芸員実習 7/27 ~ 8/6

例年夏休みシーズンに行う学芸員実習。今年は4名の大学生が参加しました。特別展会期中の実習ということで、関連イベントの日には実習生のみなさんにも事前準備や当日の補助など、幅広く活動していただきました。来年度も年明けから実習生の募集を開始しますので、興味のある方はホームページをご確認ください。



学芸員実習に参加した4名の学生さん

子どもに説明中！



イベントでは補助  
だけでなく実際に参加者  
として体験する場面も。



VR空間で  
土器を操る！

VRは事前に練習  
してから当日に臨  
みました！



# NEXT EXHIBITION

## 山の洲文化財交流展

令和5年度

中央日本4県 「発掘が語る地域交流」



観覧無料!

フォッサマグナがつなぐ新潟 長野 山梨 静岡

会期 2023 12.9 土 - 2024 1.21 日

本州の中央部にある新潟・長野・山梨・静岡の中央日本4県は、東日本と西日本、太平洋と日本海とをつなぐフォッサマグナ(糸魚川・静岡構造線)上に連なる地域で、いにしえから多くの人や物が交流する交通の要衝として発展してきました。現在、地域的・景観的な特徴から、これら4県を「山の洲(やまのくに)」と称して、新たな地域経済圏とする取り組みが進められています。「山の洲文化財交流展」は、そうした地域間交流活動の一環として、令和2年度に静岡県と山梨県の2県ではじまり、令和4年度に長野県、そして令和5年度には新潟県を加えた4県が連携し、それぞれの地域で育まれた文化財の魅力を広く発信するための場として活用されてきました。本年度も各県で発掘された個性豊かな文化資源を紹介するとともに、「山の洲」における地域間交流の歴史を辿ります。

### 「山の洲文化財交流展」巡回スケジュール

- |   |   |
|---|---|
| ■ 長野県立歴史館 [長野県千曲市]<br>令和5年7月1日(土) - 8月20日(日)    | ■ 山梨県立考古博物館 [山梨県甲府市]<br>令和5年12月9日(土) - 令和6年1月21日(日) |
| ■ 新潟県立歴史博物館 [新潟県長岡市]<br>令和5年9月9日(土) - 10月15日(日) | ■ 静岡県立美術館 [静岡県静岡市]<br>令和6年2月15日(木) - 3月9日(土)        |

第21回

## わたしたちの研究室

研究成果展示会

観覧  
無料

会期 2024 2.10 土 - 3.3 日

小中学生のみなさんが夏休みの期間や総合的な学習の時間に取り組んだ歴史・考古学に関する研究成果を展示公開します。

作品募集期間

2023 9.1 金 - 11.5 日

※作品の形式は自由です。当館へ直接持ち込みまたは郵送にて提出してください。  
作品の内容・提出方法についてのご相談は ☎ 055-266-3881 [学芸課] まで。



くわしくはコチラ

次回展示 11月 - 3月

令和5年度



# 館長講座



全4回にわたって、先史考古学を専門とする高橋館長が最新の研究成果に基づき縄文時代についてわかりやすく語ります。

電子申請(やまなしくらしねっと)にて各回開催日の1か月前から前々日まで申し込みを受け付けます(定員95名になり次第終了)。尚、4回連続の申し込みはできませんので、必ず1回ずつ手続きをお願いいたします。

※リモート配信へのお申込みは電話・来館での受付はできません。

高橋 龍三郎 館長  
【早稲田大学文学学術院教授】



6.3 (土)

第1回

「縄文時代の交易と地域文化交流—黒曜石・水晶・ヒスイ・琥珀—」

9.2 (土)

第2回

「中部高地の土製耳飾り」

各回 13:30-15:00

12.9 (土)

第3回

「金生遺跡と石棒儀礼」

令和6年

3.16 (土)

第4回

「富士山周辺の配石遺構」

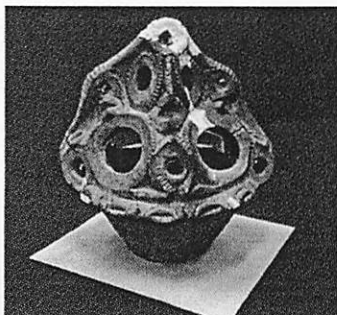


くわしくはコチラ

※尚、リモート配信が見られない・分からないという方限定で、配信当日に当館エントランスホールにてライブ配信をご覧いただくことができます。こちらは電話【055-266-3881】にてお申し込みください。

ミニコラム

学芸員の  
オススメ



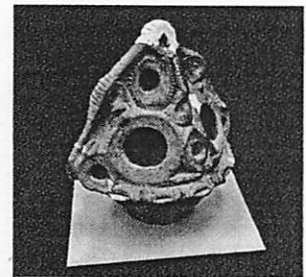
▲3Dモデル化した遺物

この土器は、常設展に久しぶりに展示した縄文時代中期(約5千年前)の釣手土器です。昭和30年に北杜市須玉町若神子新町で出土したと伝えられ、平成15年に寄贈された野沢コレクションの一つです。

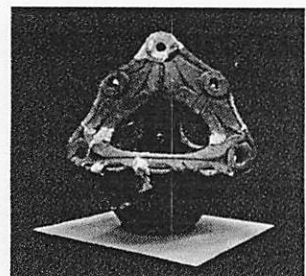
釣手土器はランプのように火を灯す道具だったと考えられていますが、実用品ではなく儀式などに使われたと言われています。見る方向によって姿(ストーリー)が異なるのが釣手土器の特徴です。

この土器も表はカエルが大口を開けているようにも見えますが、裏は目の大きい顔のようにも見えます。私も収蔵庫に別の目的で入ったところ、この土器をたまたま見つけ、マジカルな魅力に引きつけられてフラフラと展示してしまいました。裏側も見られるケースに展示しているので、その姿をあますことなくご覧ください。

[学芸員 柴田亮平]



▲ななめアングル



▲カエルが口を開けている?

館長講座・ミニコラム

# オリジナル3Dプリント 土器・土偶編 vol.2

1回  
500円

ショップのカプセルトイマシンにて販売中!

令和4年度に発表して以来好評を博している当館オリジナルの3Dプリント・カプセルトイシリーズに第2弾が登場!今回はおなじみの土偶や顔面裝飾付土器などを主力とした第1弾とはまた一味違う、個性豊かな造形の土器を中心にピックアップしました。



全7種



特に、ハンドバッグのような把手のついた「釣手土器」や、渦巻く水煙のような躍動感が魅力の「水煙文土器」などは再現が難しいのではないかと心配していましたが、完成品をみれば細部までぬかりなく作り込まれた自信作となりました。今回製作したのは全7種の遺物で、カラー展開もさまざま。色の出方には個体差がありますが、それも味として楽しんでいただければ幸いです。このカプセルトイシリーズは製作に時間がかかるため、一度売り切れると次回納品までお時間をいただくことがあります。狙っている遺物がある方はぜひお早めにご来館ください!

## 考古博物館・風土記の丘研修センター利用のご案内

**山梨県立考古博物館** 開館時間 9時～17時  
TEL 055-266-3881 FAX 055-266-3882 【入館は16時30分まで】

**風土記の丘研修センター** 開館時間  
TEL 055-266-5286 FAX 055-266-5287 8時30分～17時

### 観覧料

一般・大学生 220 (170) 円

高校生以下 無料

65歳以上の方 無料 (要証明書)

※特別展の場合は県内在住の方のみ無料

※ ( ) 内は20名以上の団体料金

※障がい者手帳をお持ちの方と  
付き添いの方1名無料

※山梨県民の日(11月20日)無料

### 休館日

毎週月曜日 (祝日の場合は翌日)

祝・祭日の翌日(土・日・祝は除く)

年末年始(12月29日～1月1日)

※風土記の丘研修センターは1月3日まで休館

### 令和5年度臨時休館

6月29日(木)～7月7日(金)

9月5日(火)～15日(金)

10月31日(火)～11月5日(日)

※展示会準備・撤収のため

### ミュージアム甲斐 in 券【4館共通定期観覧券(年間パスポート券)】

※当館・県立博物館・県立美術館・県立文学館の4館で1年間有効。

一般5,240円 大学生2,620円

### 交通

#### アクセス

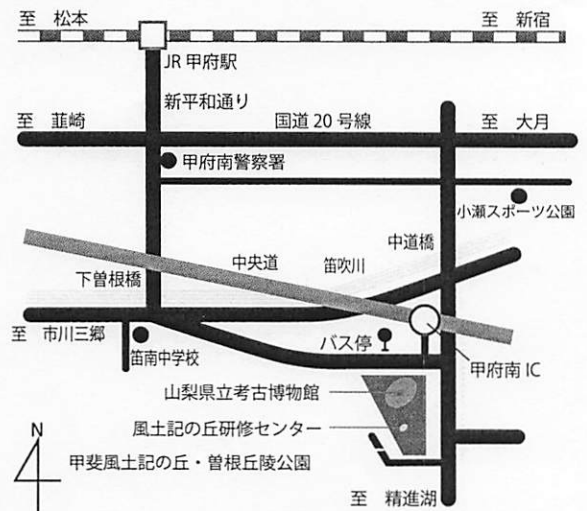
路線バスの利用◇JR甲府駅より豊富行(中道橋経由)「県立考古博物館」下車  
 自家用車の利用◇中央自動車道甲府南ICより1分(インター正面)

<表紙画像:上から>

深鉢 仁斗貝塚/土偶 二月貝塚/蛭薬金 騎西城跡/騎西城武家屋敷跡/人物埴輪・馬形埴輪 下里見天神前遺跡/  
 鳥形骨器 史跡沼津貝塚/猪牙製垂飾 大久保貝塚/単鳳環頭大刀の柄頭 北大竹遺跡/均整唐草文軒平瓦 史跡由義寺跡

### 学校(団体)の利用について

- ◇教育課程(小・中学校、高等学校、特別支援学校)で入館される場合は事前に見学の申し込みをお願いいたします。
- ◇見学時間を十分にとり、ゆっくりと見学できるようにしてください。
- ◇できるだけ下見をし、担当職員と打ち合わせをしてください。
- ◇学校見学の申し込みと問い合わせ先:風土記の丘研修センター



発行日 令和5年8月25日  
 発行 山梨県立考古博物館  
 住所 〒400-1508 山梨県甲府市下曾根町923  
 電話 055-266-3881  
 印刷 株式会社 峡南堂印刷所

令和5年度上半期の開催報告と下半期の予定をお知らせいたします。今年は秋の特別展を夏休み期間にスライドし、大々的な縄文展示会を行いました。多くの縄文ファンに満足していただけるような密度の濃い世界観をお楽しみいただけたのではないのでしょうか。秋にはもう一つの山場である「発掘された日本列島2023」展が始まります。27年ぶりに山梨にやってくる調査研究最前線をどうぞお見逃しなく!(あ)。